



林業まつり



環境展

やまがた木育プログラム体験会 スギのストラップづくり 林業まつり・環境展

10月18日(土)と、19日(日)、やまぎん県民ホール前広場で開催されたやまがたウッドフェスティバル(林業まつり)と山形ビッグウイングで開催されたやまがた環境展において、やまがた木育プログラム体験会「スギのストラップづくり」を行いました。林業まつりの講師は仲山常吉さん(両日)、鈴木拓也さんと斉藤康雄さん(18日)、矢作信子さんと明日美幸さん(19日)が、環境展の講師は大山正平さん(両日)、明日美幸さん(18日)、鈴木美穂さん(19日)が務め、木育講話と木工体験の指導をしていただきました。

今回は両会場でスギのストラップづくりを行うことから、木育の内容もスギに関するのととし、講師自らご用意いただいた内容も交えて木育講話を実施しました。

林業まつりにおいては、屋外での開催のため、天候が心

配されたものの実施時間中は雨天とならず、賑わいの中実施することができました。事前に基本の紙芝居・スケジュール等を用意しつつも、実施時には各講師やスタッフの臨機応変に対応し、駅前にいらした大勢の方に体験をしていただくことができました。環境展においては、会場屋内ブースでの実施となり、環境について学ぶ意欲のある親子がたくさんいらっしやいました。木育講話でお話したスギの特徴である木目について、やすり作業で木目がはっきりして綺麗になったという声が上がリ、講話の内容について体験をもって実感していただき、楽しんでもらえたようでした。

大勢の方にご参加いただき、山形の「樹」・「木」に親しんでもらえたと実感できた2日間でした。

【参加された方の感想】

- ・親子で一緒に体験できたことがよかった。
- ・森林と環境の大切さ、私達と森林の関係...いろいろ学ばせて頂きました。
- ・集中すること、夢中になることの楽しさを教えていただいた。
- ・あまり使うことのないやすりや「樹」と「木」の違いがよく分かりました。

【スタッフの振り返り・感想】

- ・相手に合わせ、小さな子相手にもわかりやすい、お話の仕方・内容にしよう努めていきたい。
- ・林業まつりでは臨機応変に対応することができた。
- ・体験者の感触を見て対応したが、もう少し短めに調整した紙芝居が用意できているとよかった。



作成日
2025年11月7日
やまがた森林と緑の
推進機構 緑化推進課

ひとこと

例年実施される林業まつり・環境展という大イベントの中での開催となり、多くの方にご体験いただけたことに満足しています。同時に、環境展ではブース配置が入り口からメインステージに行くルート上であればさらに目についたのに、との意見や、定時開催にこだわらず随時受け入れできればよかったといった意見もあり、改善できるところはして、これからも邁進してまいりたいと思います。(担当Y)

林業まつり82名、
環境展74名の方に
参加いただきました！

県民みんなが
支える森づくり



やまがた緑環境税

